



28人の社員がお客様支援に取り組む、同社事務所

社是・社訓は企業の原点

第1回 税理士法人
児玉税経



社是・社訓は経営を導く 具体的なツール

前号までご愛読いただきました「CSRで輝く会社」に代わり、今月からスタートする新連載です。ほとんどの企業にある社是や社訓、企業理念などを通して、経営者の企業家精神の源に迫ります。第1回は児玉税経の児玉博利社長に話をうかがいました。

平

成14年に税理士法人となつた同社。児玉社長によれば、経営理念と行動指針はそ

の際に決めたとのこと。 「私どもはコンサルティングですから、お客様の会社の発展を支援することが最大の存在意義です。発展の形は企業によってさまざまですが、『今日よりも、さらによくするためのお手伝いをする』という決意を、経営理念で宣言しています」

行動指針は、経営理念を受けて、経営者・社員の基本的な心構えを示したもの。同社には、その行動指針をさらに発展させた「五誓」もあります。

当所議員で、中小企業家同友会の経営指針委員会担当副代表理事（昨年までは委員長）でもある児玉社長は、社是社訓の重要性をこのように例えます。

「社是社訓は会社経営の根本

的な方向性を表現したもので。いわば（経営の海図）です。ふだんは業務で忙しくしていても、何か事が起きたり、新事業に取り組みもうとした時に経営理念に立ち返れば、港までの航路がそこに出ているのです。また、社員にとっても、自分

が何をすべきかを、経営者に言われなくとも考えて行動する基準になります」
それでも多くの企業にとって、社是社訓は「額に入れて飾つてあるだけ」になりがちです。「もったいないですね。活かさないのは、経営トップが社是社訓を過小評価している現われです。定めるときには一生懸命考えたはずですから、ぜひ活かしてください。それには自分だけで考えるのではなく、社員全員を巻き込んで「社是社訓を経営にもっと活かしたい、知恵を出してくれ」と全社運動にするのが、いいでしょう。一緒に考え

ることで、社員もやる気が出ます」
同社でも、最初に児玉社長が決めた経営理念や行動指針を、社員全員で「では、どう行動していけばいいのか？」と考え、熟成していったといいます。
「社是社訓は飾り物ではなく、経営の具体的なツールになり得るもの。活用しないと、企業が生き残れませんよ」
さまざまな意義を持つ社是社訓、御社でもぜひもう一度見直してみてください。

経営理念

わたしたちは、
お客様の発展に必要な
あらゆるサービスを提供します

行動指針

1. 常にお客様にとって最善の方法を考えます
1. 常に自分と会社を成長させ続けます
1. 常に改善を続けます

Information

税理士法人 児玉税経
代表社員社長 児玉博利

設立／昭和46年（法人設立 平成14年）
住所／宇都宮市鶴田町3086-2
☎028-633-8720
http://www.k-zeikei.or.jp



税理士法人児玉税経
代表社員社長 児玉博利